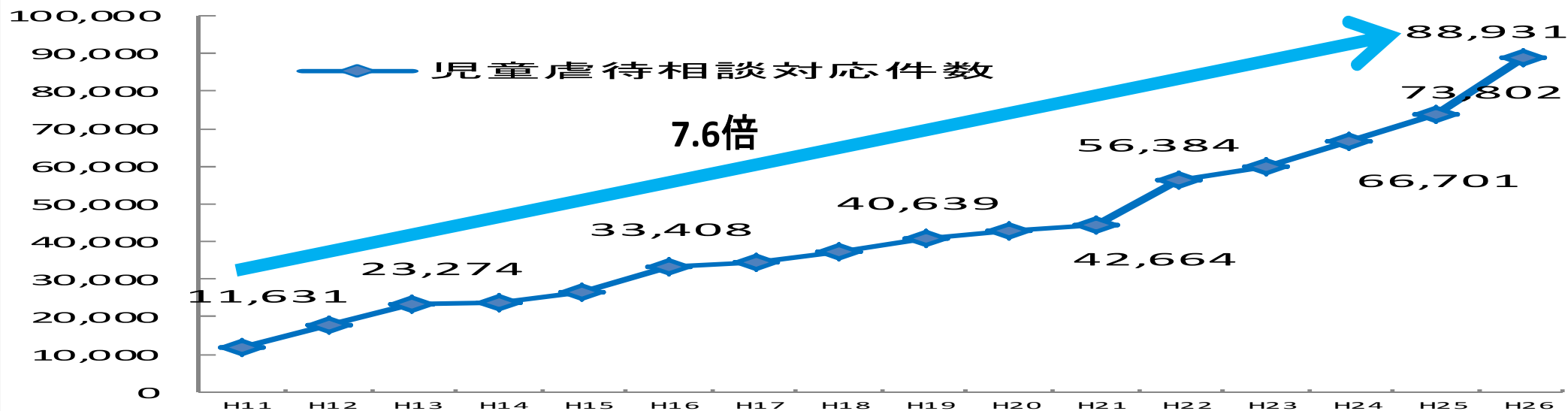


児童虐待の状況等

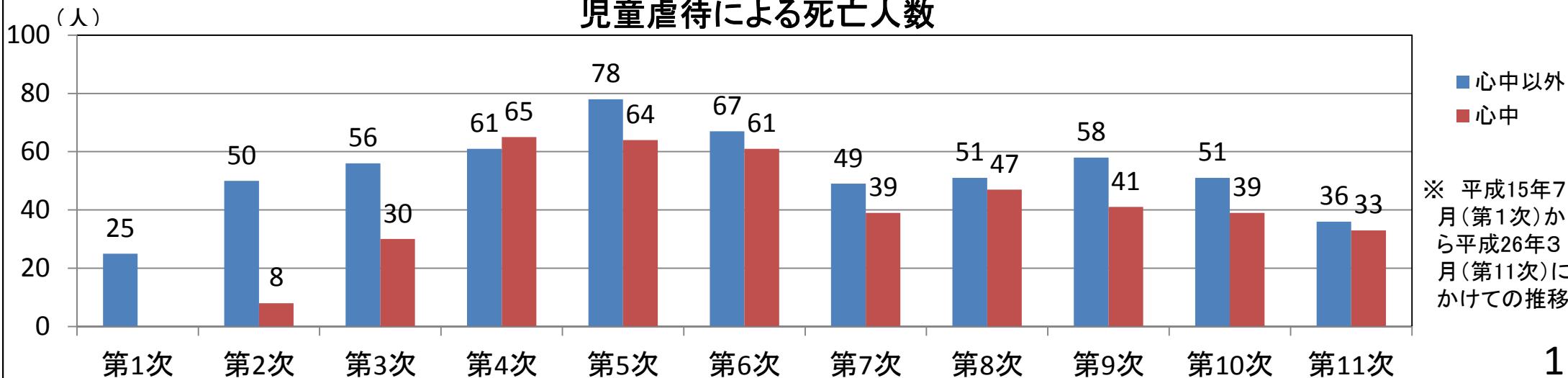
児童虐待相談の対応件数及び虐待による死亡事例数の推移等

- 平成26年度における児童相談所の児童虐待相談対応件数は、平成11年度に比べて約7.6倍。
- 死亡事例数については、毎年、多数の死亡事例が発生。（平成25年度心中以外 36人）

児童虐待相談対応件数の推移



児童虐待による死亡人数



児童相談所での虐待相談の経路別件数の推移

○ 平成26年度に、児童相談所に寄せられた虐待相談の相談経路は、警察等、近隣知人、家族、学校等、福祉事務所からが多くなっている。

	家族	親戚	近隣知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設	警察等	学校等	その他	総数
24年度	7,147 (11%)	1,517 (2%)	13,739 (21%)	773 (1%)	6,559 (10%)	293 (0%)	221 (0%)	2,653 (4%)	1,598 (2%)	16,003 (24%)	6,244 (9%)	9,954 (15%)	66,701 (100%)
25年度	7,393 (10%)	1,554 (2%)	13,866 (19%)	816 (1%)	6,618 (9%)	290 (0%)	179 (0%)	2,525 (3%)	1,680 (2%)	21,223 (29%)	6,498 (9%)	11,160 (15%)	73,802 (100%)
26年度	7,806 (9%)	1,996 (2%)	15,636 (18%)	849 (1%)	7,073 (8%)	281 (0%)	155 (0%)	2,965 (3%)	1,714 (2%)	29,172 (33%)	7,256 (8%)	14,028 (16%)	88,931 (100%)

※ 平成26年度の「その他」で最も多いのは、「(他の)児童相談所」が5,806件である。

児童相談所での虐待相談の内容別件数の推移

○ 平成26年度は、心理的虐待が43.6%で最も多く、次いで身体的虐待が29.4%となっている。

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	総数
平成24年度	23,579(35.4%)	19,250(28.9%)	1,449(2.2%)	22,423(33.6%)	66,701(100.0%)
平成25年度	24,245(32.9%)	19,627(26.6%)	1,582(2.1%)	28,348(38.4%)	73,802(100.0%)
平成26年度	26,181(29.4%)	22,455(25.2%)	1,520(1.7%)	38,775(43.6%)	88,931(100.0%)

主たる虐待者の推移(児童相談所)

○ 平成26年度は、実母が52.4%と最も多く、次いで実父が34.5%となっている。

	実父	実父以外の父	実母	実母以外の母	その他	総数
平成24年度	19,311(29.0%)	4,140(6.2%)	38,224(57.3%)	548(0.8%)	4,478(6.7%)	66,701(100.0%)
平成25年度	23,558(31.9%)	4,727(6.4%)	40,095(54.3%)	661(0.9%)	4,761(6.5%)	73,802(100.0%)
平成26年度	30,646(34.5%)	5,573(6.3%)	46,624(52.4%)	674(0.8%)	5,414(6.1%)	88,931(100.0%)

* その他には、祖父母、伯父伯母等が含まれる。

虐待を受けた子どもの年齢構成の推移(児童相談所)

- 平成26年度は、小学生が34.5%と最も多く、次いで3歳から学齢前児童が23.8%、0歳から3歳未満が19.7%である。
 なお、小学校入学前の子どもの合計の割合は、43.5%となっており、高い割合を占めている。

	0歳～3歳未満	3歳～学齢前児童	小学生	中学生	高校生・その他	総数
平成24年度	12,503(18.7%)	16,505(24.7%)	23,488(35.2%)	9,404(14.1%)	4,801(7.2%)	66,701(100.0%)
平成25年度	13,917(18.9%)	17,476(23.7%)	26,049(35.3%)	10,649(14.4%)	5,711(7.7%)	73,802(100.0%)
平成26年度	17,479(19.7%)	21,186(23.8%)	30,721(34.5%)	12,510(14.1%)	7,035(7.9%)	88,931(100.0%)